日常と化した非日常

W校　高等部二年一組

宮崎　真弥

私の日常はとても忙しい。朝七時、睡魔に誘われながらも、力の入らない体を叩き起こして洗面台で顔を洗う。そうやって私の一日は始まる。現地校での終わりの見えない課題の山や部活、習い事のダンスを夜遅くまでクタクタになりながらも遂行すれば、たしかに私に課せられた義務は終わるけれど、私の夜はまだ終わらない。趣味の読書や映画鑑賞、音楽を聞いたり絵を描いたり、なんやかんやで寝るのは明け方の四時か五時。平日が終わってやっと休めるかと思ったら土曜日には補習校、日曜日には朝から和太鼓の練習にいく。毎日何かをして、学び、知り、わずかな合間でも時間を見つけては黙々と好きなことをする。休みが来るたびに謳歌し、また日常に戻れば次の休みをカレンダーで探す日々。これが揺らぐことなく続くと思っていた私の日

常。アニメや漫画で見る非日常はあくまでも創作、決して現実で起こりうることのない仮想世界。だからこそ夢見ていた、味気ない日常に退屈すればするほどに二次元で起こる数々の非日常に興味をそそる何かがあった。でもそれは日常では絶対に起こらないフィクションでしかない。そう思い込んでいたのも束の間、滑稽なまでにあっさりと私の予想は外れ、私たちの「非日常」は扉を開いた。

二〇二〇年三月一日、アメリカ合衆国ニューヨーク州に一人目の新型コロナウイルスの感染者が確認された。母親から告げられたのは、少し可愛げすら感じるコロコロした名前で、聞いても、「どうせそんなに長引かないでしょ」としか思わなかった。少しずつ周りも気にかけ始め、店から消毒剤が売り切れてはネットニュースに取り上げられ、学校でも誰かの友達の知り合いが行ってる学校に感染者がいるといった噂で持ちきり。その日を境に、少しずつ、だが確かに、私たちの日常は「非

日常」に成り代わっていった。
いつの間にか学校は閉鎖され、先生方は今後の方針を決めるのに頭を抱え、自分が知っている世界とは違った世界線にいるみたいな感覚に陥るまで、ほんの一瞬だった。学校もない、ダンスもない。今まで欲しくてたまらなかった時間がこんなにたくさんある。それなのに、なぜか心から喜べなかった。補習校の先輩方の卒業式が中止になって祝えなかったから？前みたいに気軽に友達と会えないから？もしくは毎年楽しみにしていた日本行きの旅行の話がなくなってしまったから？気がかりはあるけど、これじゃないと言う確証だけが残る。

自粛期間が始まり新型コロナウイルスがパンデミックと認定され早五ヶ月、怠惰と鬱気との戦いだった。半年も経てばもうこの「非日常」は日常と推移していた。体内時計は荒れ狂い食生活も不安定、「暇」と呟きながらも惰眠を貪る生活。半年前の忙しそうにしてい

た自分とは正反対のような生き方。することもなければ、したいこともやり尽くし、ただただ自由だった。

きっと半年前の自分が畏怖していたのは日常をなくすこと。あんなに忙しく、寝る間も惜しんで生き抜いていた生活は飽々していたのに、それでもそんな生活が楽しかったんだ。失ってから気づいた大切なものは、「日常」だった。今、新学期が始まろうとしているが、もちろん乗り気ではない。また新たな変化に楽しみな自分もいるけれど、もう片方の自分はその一歩を踏み出すのに、途方もない躊躇いを感じている。それは新しい非日常が始まってしまう恐れからくるもの。私はもうすでにこの生活に、日常に馴染みすぎたため、また新たに始まる昔の生活はきっと、日常とは言えない、「新たな非日常」なのだろう。

新型コロナウイルスに見られる人種的格差

LI校　中等部三年一組
宇田川　ネリー　雪

新型コロナウイルスは世界的な問題です。何百万人もの人々がこのパンデミックで亡くなっています。分析された死亡率を見ると、糖尿病、高血圧、喘息、その他の慢性疾患などの健康問題を抱えている人（アメリカでは人口の四十パーセント）は、新型コロナにかかりやすい、または重症化しやすいようです。また、集中治療室や人工呼吸器を利用できない患者もそうです。特に、アメリカでは、新型コロナの感染被害が最も深刻なのは、黒人やヒスパニックの市民だという統計結果が出ています。

アメリカの有色人種コミュニティーは、新型コロナで過度に大きな打撃を受けています。COVID 感染追跡プロジェクトと反人種差別研究・政策センターのコラボによる人種別分析によると、アフリカ系アメリカ人のコロナ

死亡数は、アメリカ全人口の割合に基づく予想よりもほぼ二倍多く、ある四つの州では、三倍以上です。たとえば、ウィスコンシン州では、少なくとも百四十一人のアフリカ系アメリカ人が新型コロナで亡くなっています。州人口のわずか六パーセントが黒人であるのに対して、黒人のコロナ死亡者が州の全死亡者の二十七パーセントを占めています。これは、人口は少ないが、新型コロナによる死亡率は高いことを示しています。また、四十二の州とワシントンＤＣでは、ラテン系アメリカ人の新型コロナによる死亡数が、ラテン系アメリカ人が人口で占める割合よりも多くなっています。八つの州では四倍以上です。これに比べ、新型コロナによる白人の死亡数は、三十七州およびＤＣにおける白人の人口の割合よりも低くなっています。

有色人種コミュニティーが新型コロナの影響を大きく受けるもう一つの原因は、健康と生活状態です。「CancerHealth」の記事に、ア

フリカ系アメリカ人は、新型コロナで重症になりやすい糖尿病、心臓、疾患、肺疾患などの基礎疾患の発生率が高いとあります。また、アフリカ系アメリカ人の多くが、質の高い医療を受けることが難しく、そして、在宅勤務ができない、ライフライン関連産業に従事している現場労働者であるため、新型コロナに感染する危険にさらされています。その上、所得格差の問題もあります。アメリカの人種・民族別に所得をランク付けした場合、ラテン系アメリカ人とアフリカ系アメリカ人はランクの下方になります。

「USA Today」に、新型コロナで亡くなった二人の子持ちの母親のことが書かれていました。亡くなった母親には、新型コロナ感染・死亡率が高くなるリスク要因がいくつかありました。まず、彼女の母親がそうであったように、彼女は糖尿病にかかっていました。そして、彼女は黒人で、低賃金の仕事をしていました。もう一つの要因は、彼女がミシシッ

ピ州に住んでいたことです。ミシシッピ州は、アメリカ国内でも最も不健康な人口が多い州の一つです。概して、アフリカ系アメリカ人とラテン系アメリカ人は、白人アメリカ人よりも無保険率が高く、パンデミックの影響で縮小または閉鎖した企業によって解雇される低賃金労働者も多くいます。

このように、有色人種に新型コロナ被害が大きいことがわかってきました。この人種による偏りは、特にラテン系アメリカ人にとって、人種という遺伝的なものではなく違った原因があるかもしれません。「Washington Post」に、健康状態は、生物学的要因だけでなく、社会的要因によっても決定されるという記事が載っていました。社会的要因とは、雇用、医療制度、教育、食料安全保障などです。食料安全保障とは、単に食料の確保だけではなく、「適切な」食料を確保することを意味します。記事に載っていた例として、ワシントンＤＣ都市圏・近辺にあるアフリカ系ア

メリカ人やラテン系アメリカ人が多いコミュニティーのスーパーマーケットやレストランの食品の品質やヘルスケアに差が見られるとありました。

誰でも医療サービスを受けることができるワシントンDCのような場所でさえ、ラテン系の人々は、個人の情報が必要な手続きをしたくないために、医療サービスを受けるのを避けるかもしれません。トランプ政権下で、必要以上の個人情報を開示することは、自分達のビザ状況や滞在資格を危険にさらしてしまうことになるからです。また、ラテン系アメリカ人にとって、言語も障壁になる可能性があります。すべてのラテン系アメリカ人がバイリンガルであるとは限りません。

結論として、多くの有色人種にとって、健康への懸念は特定の病気だけに関するものではなく、健康な状態を維持する上で影響の強い社会経済的要因も含まれるということが言えるのです。例えば、所得、教育、福祉など

です。

新型コロナウイルスの感染被害が最も深刻な有色人種の人々を助けるために、クラウドファンディングなどの募金活動や地域ボランティアなどを通じて、いろいろな方面での感染拡大防止活動を支援することが、今私達ができることだと思います。

コロナウイルスと私

W校　中等部三年一組
渡邉　慧

現在（七月十七日調べ）、世界中でおよそ千四百万人もの人々がコロナウイルスに感染し、そのうち、およそ六十万人の人々が命を落としてしまいました。コロナウイルスのせいで経済的不況が続き、今後が懸念されます。世界は自粛せざるを得ず、アメリカの失業率は、一九三〇年代の世界恐慌以来の数字となりました。しかし、世界が新たなウイルスで苦しんでいる中、僕は不謹慎にもコロナウイルスに感謝をしています。コロナウイルスの影響を全体的に眺めると、確かに悪影響しかもたらしていません。しかし、個人的な観点から見ると、コロナウイルスは自分自身のために良い影響を与えてくれました。

自粛期間中、私の生活には大きな余裕が生まれました。いつもの学校生活に変わり、ゆっくりと家で過ごせる生活に変わりました。

きっちりとしたスケジュールが緩み、楽々とした日々が続きました。おかげで睡眠時間や空き時間が増えました。学校生活では、心地良い睡眠時間は取れませんでしたが、自粛期間のおかげで睡眠が増え、いつもより毎日を快適に過ごせました。朝のイライラがなくなり、一日のやる気と元気が増えました。それに加え、空き時間も増えたため、趣味や運動をする時間が増え、全体的に毎日がより楽しくなりました。趣味が音楽鑑賞の私は、自身で音楽の構成や特徴などの研究ができるようになりました。天気のいい日は、友達と一緒に自転車に乗ったり、軽い遠足に行くなどの運動もしました。家族とは触れ合う時間が長くなり、兄弟との仲がよくなったり、家族ともっとお喋りすることもできたりしました。お母さんとは料理などをしたりして、毎日料理をする大変さなどに気付くことができました。以前までは何を思わずご飯を食べていましたが、自粛によって、ご飯への感謝が増え

ました。

コロナウイルスは他にもう一つ、私に良い影響を与えてくれました。それは友達との関係です。自粛期間中、私はオンラインで友達とチャットする時間が増えました。学校では休み時間もランチの時間も短く、友達と喋る機会がほとんどなかったので、新しい友達と仲を深める時間がありませんでした。それに僕は少し人見知りな性格なので、人と喋るのを躊躇してしまいます。しかし、オンラインでは簡単に、気軽に人と喋れるので、以前までは友情が浅かった人と、よりたくさん話をしてもっと友情を深められました。さらに、友達の知らなかった趣味や側面なども知ることができました。例えば、自粛期間のおかげで、私は友達が撮影や映像に興味を持っていたことを初めて知りました。このような情報を得られたことによって、学校に戻ったときや、自粛期間が終わったときに、友達と趣味を分かり合えながら、楽しく過ごすことがで

きると思います。友達と一緒にビデオなど撮影してみたり、動画を作ってみたりして、さらに友達と仲を深めることができるのです。このように、睡眠や自身の趣味ができるようになっただけではなく、コロナウイルスのおかげで友達との友情も深めることができました。

確かに個人的な観点から見ると、コロナウイルスは良い影響をもたらしているのかもしれません。しかしながら、コロナウイルスは危なくて残酷だという事実を忘れてはいけません。私の親はパンデミックの間、失業しなかったからこそ、私はこうやって楽しい日々を過ごせています。しかしそれと違い、失業してしまし い、お金を稼げなくなった家族もたくさんいます。オンライン授業を受けられない環境にいる子供もいるし、パンデミックのせいで苦しい日々を送っている子供もたくさんいます。どれだけ私の日々が楽しくなっても、どこかで、他の誰かが必死で生きてい

ることを忘れてはいけません。満足した日々は続いて欲しいですが、全員のために、その欲望を犠牲にして、一刻も早くコロナウイルスがなくなることを、心の底から願っています。

コロナウイルスと僕

W校　中等部三年二組
渡邉　喜

今年の年初に、中国の武漢市で初めてコロナウイルスの報告がありました。この時は、コロナウイルスをなんてことない、ただの風邪だと思い込んでいました。そこからコロナウイルスは世界中に広がりはじめ、初めての感染から今に至るまでに、およそ六十二万四千人が命を奪われました。ウイルス感染の危険性のため、世界中の店や学校、公共スペースなどが全て止められ、世界中がロックダウンになりました。コロナウイルスは世界を大きく変え、人々の生活に大きな変化をもたらしました。僕はコロナウイルスに対して、いろんな気持ちがあります。学校に行けなくなり、自分の時間が増え、嬉しい気持ちもあれば、今この時間にコロナウイルスで苦しんでいる人がいると考えると、悲しい気持ちにもなり、夏の

楽しい予定がいろいろとできなくなり、怒りの気持ちもあります。コロナウイルスは世界の日常生活を大きく変えました。

コロナウイルスがもたらした変化を周りを見て観察してみました。仕事の時間が減ったために、自分の時間が増えた人が大勢いました。特に自分の時間が増えました。これは、たくさんの例で見られます。外を歩いていると、自分で作った手作りマスクをつけている人を多く見かけます。買い物に行くと、ケーキや焼き菓子などを焼くための材料がものすごく減っている事に気付きます。普段の生活では出来ない、新しいことに挑戦できる時間が増えた人がたくさんいる事がわかりました。私自身も新しいものに挑戦することができました。あまり興味を持ったことのないハリーポッターの映画を見てみたら、意外と楽しめて、最終的にシリーズすべてを見てしまい、さらにハリーポッターの大ファンになってしまいました。このように、新しい趣味を

見つけた人はたくさんいると思います。それが、新しい人と出会えるきっかけになるかもしれません。そう考えると、心が明るくなります。

さらに、コロナウイルスは環境に良い影響を及ぼしました。自粛のため、外に出かける人が減り、毎日使われるガスの量やエネルギーの量が減りました。四月のIEA(International Energy Agency)によるコロナウイルスとエネルギー事業へのインパクトレポートによると、コロナウイルスの影響で、石炭の需要が八%減り、石油の需要もおよそ五%減り、エネルギーの需要もなんと二十%減りました。初めてこのレポートを見た時、僕は「このまま続けば、地球温暖化もよくなる可能性がある」と嬉しくなりました。ですが、その後、少し複雑な気持ちになりました。この環境への影響は、あくまでもコロナウイルスの副産物だと気づき、コロナみたいな大きな危機がない限り地球温暖化という

大きな問題を解決することはできないとわかったからです。まさか、ここまで大きな問題がないと人は頼りにならないと考えたら、嬉しい気持ちから、段々悲しい気持ちのほうに動かされました。

コロナウイルスは良い影響もありましたが、悪い影響がほとんどです。例えば、仕事がなくなり、家のレンタル料金が払えなくなり、困った人がたくさん現れました。一つの調査によると、失業率がおよそ十六%、二〇〇七年から二〇〇九年に起こった「Great Recession」の失業率も越えるほどでした。失業率が増えるとともに、家族全員が家にいる時間も増えます。家族全員家にいれば家族愛が大きくなると思いますが、実は反対の効果が起こっています。今、「コロナ離婚」というものが発生しています。小さい空間で長い時間を過ごしているカップルや夫婦の間で、喧嘩や家庭内暴力等が発生しやすくなり、離婚してしまう現象です。コロナ離婚も、失業

も、どちらも未来に大きく影響してしまう可能性があります。これらの問題をいち早く解決しないと思うと、悲しみとともに、心配という気持ちも表れてきました。ですが、悪い影響はまだまだあります。

中国で発生した理由で、トランプ大統領はコロナウイルスを「Chinese virus（中国ウイルス）」や「Kung Flu（カンフーをもじってカンフルー）」と呼び、こういう差別問題が発生するようになりました。CBSニュースのインタビューによると、三月から六月の三ヶ月の間に、およそ二千百件の反アジア系アメリカ人憎悪事件が報告されていました。他のニュースも調べてみると、電車内やお店の中で暴言を吐かれ攻撃されたアジア人が数多くいました。これを見た時とても悲しくなり、怖くなりました。日本人として、僕もいつか襲われるかもと思うと、少し恐怖を感じました。僕のお母さんもブロンクスの病院で働いているので、毎日お母さんが仕事に行く時に、無事

に帰ってこられるか怖くなります。必要のない人種差別や暴力をやめて、力を合わせ、コロナウイルスを倒さなければいけません。

コロナウイルスは一生忘れることないほどの大きな問題です。コロナウイルスは経済的な問題も起こせば、地球の環境を改善してもくれました。コロナは僕や友達にとって休みをくれた良いことでもあり、大切な人をなくした人にとっては良いことが一つもない悪いものでした。コロナは人それぞれに違うインパクトを与えましたが、確かなのは、コロナウイルスは大変な問題だということです。そして、それをみんなで協力しあい、この辛い時を乗り越えることが一番大切なことだと思っています。

コロナと私の新高校生活

Ｌ１校　中等部二年一組
政岡　里奈

私は六月に中学を卒業し、この九月から高校に通い始めます。長い夏休みの後に、一緒に中学に通った友達にまた会えることを楽しみにしていました。でも、私の新しい高校生活は、コロナ感染が世界中に広まった今、想像していたものとかなり違うものになりそうです。最初は待ちに待った高校生活を考えて、すごくワクワクしていました。でも、コロナのせいで色々なことが変わってしまいました。

一つ目は、友達全員とは会えなくなる事です。なぜかと言うと、ソーシャルディスタンスを保つために私の学校の生徒達は二つのグループに分けられてしまうからです。苗字のイニシャルがＡからＬはＡグループで、ＭからＺはＢグループです。私はＢグループですが、仲のいい友達のほとんどはＡグループな

ので、その友達とは学校で会えません。学校に行かない日は、オンライン授業になりますが、家からログインしたスクリーンには先生とボードしか見えず、家にいる私達にはクラスに参加している友達の様子は見えず、そのクラスにいる友達には家からログインしている私達の様子が見えないのも残念です。

二つ目は、学校の中でマスクをする必要がありますが、水を飲む時やおやつを食べる時はマスクを取らなくてはいけません。その上、マスク着用が必要な為に、体育の時間は実際に運動をするのではなく、体育についての勉強をすることになってしまいます。運動が出来ない為に放課後のスポーツのクラブ活動も中止になってしまいました。悲しんでいるのは私だけではなく、生徒のほとんどがスポーツが中止になったことでがっかりしています。

三つ目は、私は学校に行く事に対して不安を感じています。仲のいい友達にはほとんど

会えないけれど、学校の半分の生徒は同じ日に学校に集まることになります。普通と比べると半数の生徒でも、かなり大勢の生徒や先生達が同じ学校にいる事になります。もし誰かがウイルスに感染していたら、一緒にいた多くの人達が危険にさらされます。授業ごとに違う教室に移動するので、感染のリスクは高いです。それに、お昼の時間にはカフェテリアに大勢の生徒が集まりマスクを取ってしまう事も心配です。

四つ目は、学校のロッカーが使えなくなってしまう事です。一日中自分の荷物を持って移動しなくてはいけません。それに、音楽の授業で使う楽器も一緒に持ち回らなくてはいけません。私はチェロを習っていて、楽器を学校から借りるので持ち運びする必要はありませんが、他の人と同じチェロを使う事になるので、感染の危険が増えます。先生にどんな予防法があるのか訊く必要があります。

五つ目は、以前は十一年生以上は授業のな

い時間には学校外に出る事が出来ましたが、今は学校内に入る度に体温測定などがあり、感染の可能性を下げるためにも外出は出来なくなってしまいました。私の兄は今年十一年生になったので、空き時間に私のランチを買ってきてくれたらと期待していたので、とても残念です。

二千二十年の夏

W校　中等部一年一組
長谷　杏吏

僕は、この夏、祖父の見舞いに行くために、日本へ行くことになりました。僕は、ちょっと緊張していました。なぜなら、新型コロナウィルスが流行っていて、コロナになりたくない気持ちとみんなに移したくない気持ちが混ざっていたからです。

最初に、マスクや消毒液を用意して、飛行機に乗りました。二百人乗りの飛行機に三十五人くらいしか人が乗っていなかったので、もし、寝たかったら、窓の方に行って横に慣れたので、普段は飛行機ではあまり寝ないけれど、今回だけすごく気持ちがよくて、すぐ寝れました。

日本に着いたらＰＣＲ検査をしました。検査が痛かったらどうしようと心配をしていましたが、全然、痛くありませんでした。僕は、検査後の二日間はずっと不安でした。もしも

僕が陽性だったら、家族に僕のコロナが移ってしまうからです。そう考えているうちに家族がお迎えに来て、家に変えることができました。三日後、僕は『陰性です』というメールを受け取り、一安心しました。しかし、二週間も自宅待機をしないといけません。家でずっとゲームをしたり、勉強や、家の手伝いをしました。毎日ニュースでは、東京都の感染者の数や、いろんな場所のクラスターを伝えていました。僕は、すごく暇で、庭で水やりをしたり虫取りをしました。毎朝早く起きてセミを取り、卵かけご飯を食べました。アメリカでは、卵が新鮮ではないので卵かけご飯を食べることができないから、日本にいる間によく食べます。僕は、和食が好きなので、いつも美味しいご飯を作ってもらいます。特に生ベーコンや日本のソーセージが大好きです。レストランとかは、まだ行けないので、ずっと家でご飯を食べていました。

僕は、早く自宅待機を終わらせたいです。なぜなら、ずっと家で同じことをするのが、飽きてきたからです。自宅待機が終わったら、僕は、まず買い物に行きたいです。なぜなら、日本の品物は、アメリカの品物を比べたら、日本の方がすごく便利だからです。例えば、日本のマスクや消毒ワイプや消毒液は、アメリカより量が多く、もっと効果があるからです。

僕は、ずっと最初の一週間は、時差ぼけで夜中の二時とかに起きていたので、早く時差ぼけを直したかったです。でも、ちょっと時間が経つと、すぐに時差ぼけは直りました。

日本では、毎日のコロナも感染者を発表しています。日本もコロナの感染者は増えていました。全国で千人とかを超えていました。でも、大阪では、吉村洋文大阪府知事が、テレビで、あるうがい薬について、嘘みたいな本当の話だけれど、『うがい薬を使えばコロナに感染する可能性が低くなる』と言っていま

した。僕もそのうがい薬を二つ買うことができました。お店では、いつも売り切れていました。吉村知事は、とても優秀と言われていました。日本のクオモとも言われていました。吉村知事は、ずっとニュースに出ていて、一週間ずっと注目されていました。

僕の二週間の自宅待機は、そうしているうちに終わりました。すごくうれしかったです。しかし僕は、日本で、友達に会いたかったけれど、コロナで会うことができませんでした。姫路にいる祖父のお見舞いに行くまでにまだ後一週間あったので、まず、僕は、お寿司を食べに行きました。そして、日本のコンビニや百円ショップのお店にも行っていろいろなものを日本で買いました。

八月のはじめに、新幹線で祖父のいる姫路に行きました。新幹線の方が飛行機より乗客が多かったです。でもコロナが出ない時よりは、人は減っていました。姫路の方が東京より暑かったです。姫路では、大きい町やコロ

ナの感染者が多い街からあまり人が来て欲しくない感じでした。それは、お盆休みにはいろんな人が里帰りで帰ってくるからです。それにも僕は驚きました。

姫路の滞在もあっという間に終わりました。僕はまた新幹線に乗って関東に戻りました。帰りの新幹線は人があまりいませんでした。多分、お盆休みの間、コロナで人があまり里帰りしていなかったからだと思いました。でも、日本の政府が、ゴウツートラベルというキャンペーンをやっていて、ホテルが半額になりました。コロナでホテルに泊まる人が少ないので、このキャンペーンで、多くの人がホテルに行きたくなり、日本のコロナの感染者数が増えました。でも僕は、ホテルで働いている人にとっては、もっと仕事ができるようになって、良かったのかもと思いました。でも、このキャンペーンのおかげで、日本のコロナ感染者が増えてしまったのには、とても残念だと思いました。

日本滞在の最後の一週間は僕は、買い物ばかりしていました。アメリカに戻ってくる時、ＪＦＫの空港では、ＰＣＲの検査もなく、二週間の自宅待機のことも何も言われませんでした。僕は、ちょっとニューヨークのコロナ対策の方が日本より危ないなと思いました。日本に入国するときは、ＰＣＲ検査もしてとても厳しいからです。僕は、新型コロナウィルスが流行っているこの夏にアメリカと日本、それぞれ違ったコロナ対策を体験できて、貴重な時間を過ごせたと思いました。

コロナウイルスで変わる私の生活

L工校　初等部　六年一組
ゾン　さくら

私は、コロナウイルスのことをあまり深刻に思っていませんでした。

ある日突然、コロナウイルスにかかってしくなる人が急に増えました。学校にも行けなくなり、外出もできなくなって、家にいなくていけなくなったときに、私はこれはとても深刻なんだと気づきました。

学校に行けなくなって、授業がオンラインになりました。始めはかり方が分からなくて難かしかったけれど、だんだん慣れてくると、毎日のオンライン授業もイヤではなくなりました。

毎日学校で会っていた友達にも会えなくなって、よく一緒にご飯を食べに行ったりしてた親せきにも会えなくなり、何か変な気持ちになりました。

私の家族は、健康にとても気をつけるよう

になりました。特にお母さんは、家のドアから一歩出るだけでも、マスクを着けるようになって、買い物も全て消毒するようになりました。私も弟も外出するときは必ずマスクをして、なるべくものをさわらないように気をつけています。今では、マスクをつけることが普通になっています。

今の生活は、毎日宿題をして、テレビを見たり、本をたくさん読んだり、お父さんの休みの日に外に出て運動をしたりしています。今年の夏はたくさん自転車に乗って色々な場所へ行っています。マスクは必ず着けて。

コロナウイルスに気をつける毎日を経験して、私は今までより健康のことを考えるようになりました。

一日も早く、前のような生活に戻りたいです。

20×20

砂時計

L工校　六年二組

Y　沙友

コロナ禍の時間は砂時計。まるで一人だけの空間に砂時計が一つ。砂は一つぶ一つぶ落ちていき、まるで時間が止まっているよう。少し前までは、その時間は秋に学校が始まって終わると思っていた。しかし最近、以前のように学校に戻れない事が分かりまた悲しくなった。私はもうこの閉じ込められた空間からうばていきたい。以前のように自由にどこにでも行きたい。でもそれはできない。

　このコロナ禍で少しいい事もあった。今まで以上に姉と話す時間が増え、学校まで歩く手間が無くなった。しかし、コロナは私がこの夏一番楽しみにしていたものを奪った。それは日本に行く事だ。私は毎年日本の家族に会うのを楽しみにしている。コロナのせいでその楽しみは無くなった。私はいつも中国を

20×20

にらんでいた。もっと早目に封じ込めておけば世界中に広まらずにすんだかもしれない。そんな時、私のおばは、おばの友達にあった話を教えてくれた。おばの友達は、ある日スーパーで買い物をしていると、

「クソや国人め」。

と、白人のおばさんに言われたのだ。私は、この話を聞いた時、少しイラッとした。私は中国と日本のハーフなので、中国人に対してひどい事を言うのはひきょうだと思ったのだ。しかし、よく考えてみると、それは私がしていた事と同じだと分かった。中国を嫌っていた。複雑な感情をもっていた。それから私は考え直した。中国をうらんでもどうにもならない。今は皆で力を合わせ、コロナの対策を考えるのが正しいと思う。母も以前同じ事を言っていた。

私の砂時計の砂が落ちきるのは、いつになるのだろう。

20×20

マスクと自転車

W校　初等部　六年二組

ロドリッツ亜論

コロナウィルスのおかげで、ブロンクス・パークウェイのバイク・サンデーが、夏休み中も開催されることになりました。毎週日曜日十時から二時まで、高速道路が自転車専用道路になります。ぼくは毎年家族と自転車を乗りに行っています。

今年はマスクを付けて走らなければいけません。これが暑くて好きではありません。スカースデールからホワイト・プレインズまでの道のりには、坂が沢山あるけれど楽しいです。ブロンクス川の隣も走ります。坂道を立ちこぎでグングンとこいでいたら、息が苦しくなったので、マスクをこっそり鼻の下まで下ろして走っていました。川の途中の滝の水の匂いがすごくいい匂いだったので母に「いい匂いだね！」と言ったら、母にマスクを下げていることが

バレてしまいました。マスクから出たお母さんの目は驚いていて

「マスクを取っちゃダメだよ！」

と言いました。でも、母も同じ匂いをかいで

いて、

「滝の匂いってとてもいい匂いだね。」

その後、母と大笑いをしました。

最近は現地校の友達とも行きます。ぼくの友達は、ぼくより小さい自転車に乗っているのに、ぼくより速いです。それが恥ずかしいので頑張ります。いつも家に帰る時に、すごく急な坂道を上らないといけないので、すごく疲れます。毎週十マイル以上走って、一時間半ぐらいかかります。暑いし車輪が小さいのですごくつらいけれど、楽しいのでいっぱいやります。

毎年、夏休みは日本に行っているので、毎週自転車に乗ることはなかったけれど、コロナのおかげで、こんな時でも家族や友達と自転車に乗って楽しむことができます。早くマ

スクを外して思いっきり滝の匂いをかいで走りたいです。

オンラインの学校生活

W校　初等部　五年一組
太田　実奈

「明日からコロナウイルスに対応するため、二日間学校が閉まります。学校閉鎖は二日よりも長くなるかもしれません。」現地校のスティンチコム校長先生が言いました。そしてそのまま、みんなに会えずに四年生が終わってしまいました。

学校に行かずに、コンピューターの前で勉強することになりました。グーグルクラスルームやZOOMなど、私は新しい方法で学びます。初めてコンピューターの操作や、友達とのビデオ会議が出来て新鮮でした。自分なりに時間の使い方を配分できるようになりました。

家で学ぶようになって、初めてグーグルクラスルームを使いました。テスト、ストリームでの活字チャット、宿題の提出など様々なことが出来ます。具体的な使い方を紹介しま

す。

選択式のテストでは、答えを選び送信すると、自動採点されすぐに点数が分かります。私はいつも百点を獲得していました。ストリームの活字チャットでは、クラスメートが絵文字を打ち込んで遊んだり、先生に質問をしたり出来ます。グーグルドキュメントで書いた作文は共有して提出、アート作品は写真をてんぷして提出、サックスを吹く動画はバンドクラスにアップロードします。担任の先生は、提出した全ての宿題に個人的な返事をくれます。宿題の良い所や改善点を教えてくれるので、とても感謝しています。このようにグーグルクラスルームでは、宿題を写真、音声、動画、リンク、PDFなどの形式で、教科別クラスに送ることが出来ます。

学校行事もオンラインでした。アメリカ独立戦争の歴史学習で、ZOOMを使ってセントポール教会学芸員のお話を聞く遠足がありました。生徒が六十人、学芸員が一人のグル

ープで参加します。インターネットの調子が悪く話が聞こえず、画像も止まり散々でした。

この経験を元に、次の理科のオンライン遠足はうまくいきました。参加者は、事前に定規、卓球のボール、タオルと本を用意しました。ZOOM会議が始まると卓球のボールを落とす実験が始まります。結果は、全員硬い物の上に落とした方がボールが高く跳ねました。ZOOMの「手を挙げる」機能で指名された人が発表、私も活字チャットで自分の意見を言いました。最後の質問は、サーフボード上でのバランスの取り方でした。ヨバンが、実際にボディーボードを持ってきて見せたのが面白かったです。理科の遠足は聞くだけではなく、みんなが参加していたので大成功でした。

現地校では、英語の補習授業ESLもあります。フリップグリットという動画提出の宿題が出ました。私がどの程度英語が話せるのか、ビデオにとって送らなければならないの

です。楽しかったのは、お花や動物の顔のスタンプで、ビデオの飾り付けをしたことです。妹はいつも人魚や冠の飾り付けを楽しんでいました。

オンラインで学んでいたおかげで、時間配分を自分の自由に設定出来て、とても助かりました。私は算数が得意なので、現地校の算数はすぐ終わります。けれども、英語の読解や作文には時間がかかります。特に英語でアメリカ独立戦争の歴史を学ぶ時には、知らない単語が多くて文章を読むのにとても苦労しました。母親と一緒に読み進め、夕方の五時くらいまでかかって宿題を仕上げました。自分の得意な教科は早く終わらせ、難しい教科にじっくり取り組むことが出来たのです。

ところが、うまくいかない例もあったようです。朝のグーグルミートに一度しか出席しないマシューと言う友達もいました。マシューはいつもお昼の十二時に起きているというのです。時間の使い方が自由すぎると思いま

した。ある日の朝のグーグルミートでは、担任のカッサーロ先生が、

「ルカ、宿題を夜の十一時に提出しても見ませんよ。」

と言いました。カッサーロ先生は毎日宿題をてんさくしてくれるので、遅くとも午後六時までに提出しないと見てもらえないのです。夜の十一時に宿題を出すクラスメートがいてびっくりしました。

ZOOMを使った補習校の授業では、話し合いの時に、ブレイクアウトルームを使いました。三、四人の班で司会者を決めて報告文を発表し、意見を交流します。オンラインでも話し合いが出来てすごいと思いました。

コロナで学校がリモートになり、うまくいかないこともありました。けれども、新しい機械の使い方を習得することは楽しいし、自分で自由な時間配分が出来ることは有意義でした。四ケ月前の私は、人差し指だけでタイピングしていたなんて、信じられますか？

コロナウイルスの対処法と生活の違い

W校　初等部　五年二組
松澤　歩睦

コロナで補習校や現地校、人によっては習い事も「ZOOM」になり大変なことになっています。コロナウイルスで世界中が混乱しています。そのため、外出は避けた方が良いのです。コロナウイルスとは、危険なウイルスで死に至ることもあります。お店によっては、列に並ばなければいけない所もあります。もちろん、マスクをしてもフィートは、はなれなければいけません。そして、外出したあと必ず手を洗うという習かんをつけた方が良いと思いました。外出に制限があるせいで、家にこもってゲームをする人が多くなってきています。仕事をしている多くの人は、家で仕事をするように言われているらしく、僕のお父さんも家で五時ごろまで仕事をしています。そんな生活をしている中、たまには外に出て近くの公園を散歩することも大切だと気

付きました。

これらをまとめると、あちこちで「200MLなどで、家族以外の人とコミュニケーションをとる人がいること。コロナウイルスはとても危険なウイルスである。また、外出する際は、マスクをして6フィートはなれるようにして帰って来たら手を洗う習かんをつけた方が良いこと。たまには、外に出た方が良いということです。

そこで僕は、思いついた中から三つ目標を作ることにしました。「外から帰ったら必ず手を洗う」「外出する際はマスクをする」これらは全て体を健康に保つ事を前提に考えました。

「外から帰ったら必ず手を洗う」というのは、ウイルスを持ち込まないという意味です。

「外出する際はマスクをする」というのは、他人や物などからウイルスを貰わないようにするという意味もありますが、自分からコロナウイルスを他人に移さないようにするとい

う意味もあります。「たまに、外に出る」というのは体調を崩さないようにする意味があります。そして、気分を良くする効果もあります。僕は、目標を三つにしたけれど多い方が良いと思います。

この中で僕が最も重要だと思ったのは、「外出する際はマスクをする」だと思いました。なぜなら、マスクをしていれば移ったり、自分が移したりするリスクが少しでも減ると思ったからです。そして、リスクが減ると感染者も減ると思うからです。このような人々の事を考えつつ、コロナウイルスに気をつけるというのはとても重要な事だと思いました。

しかし、たまにマスクをしていない人を見るので少しおどろきます。マスクは、そのような人からのコロナウイルスを防ぐ一つの手だんにもなります。でも、だからといって手を洗わなかったり、外に出なかったら体にも良くありません。マスクは、鼻水が付いてきたなくなったら洗ったり新しいのに変えたほうが

良いと思います。

このようなコロナウイルスにも弱点が存在します。「洗ぜい」「アルコール」「石けん」「日光（熱）」です。

次にコロナウイルスは「目」「口」「鼻」から侵入するので、「目」「口」「鼻」はあまり触らない方が少しでも安心して生活できると思います。ですが、家では触っても大丈夫だと思います。なぜなら、家に帰って来た手を洗うのでウイルスが持ち込まれる確率が非常に低くくなるからです。とはいえ、水だけで洗うのではなく石けんで洗わないと意味がありません。お年寄りや病気をもっている人がウイルスに感染すると重傷になることが多いそうです。

生活の違いは、夏休みなどに旅行に行っていたけれど、コロナウイルスで旅行に行くのがむずかしくなったのでひまになりました。しかし、家でご飯を食べるのが少し楽しい時もあります。たまに、映画を見ることもあり

ます。これらが違いです。

僕はふ、だんの生活がどれだけ良いか分かりました。これからもコロナウイルスは、続くと思いますが、健康を保っていけると良いなと思いました。

あつ森

LI校
初等部
四年一組
ベンソン澪

あつ森とは今流行っているニンテンドースイッチのゲーム、「あつまれどうぶつの森」のことです。私はこのあつ森があったことでコロナウィルスでずっと家にいてもたいくつしないですみました。

まずあ　森がどんなゲームかを説明します。

最初はさっ草、木、花しかない島でスタートします。そこに自分が住み始めて、住人をふやしていきます。この島では食べ物は全て木のフルーツです。そして家を建てたり、服を買ったりして生活していくゲームです。このゲームは戦いも、武器もないとても平和なゲームです。

あつ森のみ力は三つあります。

一つ目は、あつ森の世界では、自由に自分の好きなように暮らせることです。今日は何をしようかな？と島をうろうろしてやりたい事

を見つけます。私はお買い物や島をデコレートするのが好きです。お買い物をするにはお金をためなくてはなりません。お金をためるにはざっ草を抜いたり、海岸から貝を拾ってきてお店に買い取ってもらいお金をためます。

二つ目は本当の社会の事を学べることです。例えば、いろいろな魚、花、虫などがでてきて名前を覚えることができます。他にも、ロールやかぶなども出てきて、お金の仕組みも勉強できます。私は日本語のせっ定にしているので、日本語の勉強にもなります。最後にあつ森のいい事は、あつ森で兄弟と遊ぶことが増えたことです。前はよく兄弟げんかをしていたけど、あつ森をするようになってお兄ちゃん達と仲良く一緒に遊ぶようになりました。

　このようにあつ森で遊ぶことはいい事ばかりです。友達のお母さんもはまっていると聞いたので、私のお母さんにもするようにすすめていますが、まだしてくれません。みんな

にもあつ森をおすすめします。あつ森があれば、コロナも乗り切ることができると思います。

私がしている事

W校　初等部　四年一組
内田りの

私は、このじょうきょう下で、次の様な事をしています。

まず、午前中は勉強をしています。なぜなら、私のお母さんが私と妹のために宿題を作ってくれるからです。しかも、今は色いろな所に行けないので、勉強するのに良い機会だからです。その中では、日記、えい語の日記、漢字、国語や算数のドリル、それと都道府県の事などをやっています。

そして、私のお父さんの仕事が終わった後に、たまに家族全員で、近

所のプールに行きます。私はそのプールで、平泳ぎをお父さんに教わっています。そしてたまに、私の妹とーしょにクロールを習っています。しかも、そのプールには飛びこみ台があり、前まで私はちゅう返りができたのに、最近はやっていなかったので、できなくなってしまいました。私はやろうとしているのですが、こわくてできません。なので、最近は高く飛んだり、体を丸めたり、足を広げたり、ジャンプのしゅ類をふやしています。

今は、こういうじょうきょうですが、私は意外と楽しんでいます。

16×16

夏の夜空

W校　初等部　四年二組
中田　澪

ぼくは、家族と星を見に、ニューヨーク州のビンガムトンの山の近くに向かいました。車で三時間ほどのきょりです。

民家もなく、光が少ない場所に、車をとめて、空を見上げました。たくさんの星が見えたけど、ぼくが最初に目に入ったのは天の川です。白いベールみたいな色で、本当に川みたいでした。と切れなくのび、はしが見えませんでした。これが本当に銀河のかたまりだということが見て少し分かりました。

16×16

「あれがカシオペアざだよ。」と、お父さんに教えてもらいました。カシオペアざは、アルファベットのWのような形をしていて、はっきり見ることができました。後で調べてみると、カシオペアざの左がわには北極星があり、カシオペアざはその目印になっているそうです。

流れ星も四回見ることができました。二連続で落ちた時に、ねがい事を言うことができました。帰ってきてからわかったのは、ペルセウス流星群のピークだったようなので、たくさんの流れ星を見ることができたのだと思います。運が良かったです。ねがい事もかなうと良いなと思いま

す。

こう星とはちがう光り方をしているものがあり、それは後で調べて火星だと分かりました。火星は、赤白く光っていました。ぼくは、初めてわく星を見ました。キラキラ光る星もきれいだけど、わく星を見れたことに感動しました。

大気のえいきょうで、地平線に月がいると赤く見えるようでその日の月も大きく赤く見えました。月食でもないのに、赤く見えたのでびっくりしました。

夜空に広がる星空は、全てすごくきれいでした。ぼくは、うちゅうに行き、星やわく星など近くで見てみ

16×16

たいと思いました。プラネタリウムで見たことはありますが、実さいはもっときれいだと思います。そこで見たのはたったの十兆ぐらいですが、本当は、不可思議や無量大数の位にとどくくらいあると思います。星やわく星についてもっと勉強して、しょう来大きくなった時に、うちゅう旅行をしてみたいです。

楽しいハンモック

L工校　初ケ峠部　三年一組
山口　大成

夏休みの間に、ぼくはハンモックをはじめて使いました。ぼくのハンモックは赤い色でぬので出来ています。長くてぼくとお母さんを足したくらいです。ハンモックの中には、まくらやもうふを入れる事ができます。そして人が三人入ってもこわれません。でも四人入ったらこわれます。ハンモックはひもを使って木と木の間につけます。ぼくはお父さんとつけました。

はじめて一人でのった時、ハンモックがゆれてこわくなりました。お

父さんがどうやってのるのか教えてくれました。その後、一分のってみたら楽しくなってきました。ハンモックの楽しいところは「ゆれること・ねれること・気持ちいいこと」です。ぼくはハンモックの事がすきになりました。

ハンモックでねていると、太陽の光が当たって顔があつくなりました。まつかったけど、気持ち良くてねむたくなりました。ぼくの妹がぼくの上にのってきたので、トレジャーゲームをして遊びました。遊び方は、ハンモックの下にあるトレジャーをとってにげるために、お母さんがハンモックをゆらします。大きくゆれ

るとおちそうでこわいけど、楽しいのでも。とゆらしてほしくなります。ハンモックからギーギーという音がしたので、こわれると思ってこわくなりました。でもこわれませんでした。

はじめてハンモックにのった時は、ゆらゆらとゆれてこわかったけど、少しのるとこわくなくなりました。そして、なれるとゆれるのが楽しくなりました。ぼくはつかれた時にハンモックを使って休けいをしたいので、家にもハンモックがほしいです。

16×16

学校に行きたい！

L工校　初等部　三年二組
ダベンポート　莉理愛

コロナウイルスが世界中に広がって学校が閉まってしまいました。ウイルスからみんなをまもるためです。安全にすごすには、どうして学校や会社やお店も閉まってしまったのかをわかる事が大切です。マスクをつける事もおうちにずっといる事もおたがいをまもる事になります。どちらもはじめての事なのでみんながんばらないといけません。

明日から学校が休みと知った時は少しうれしかったです。でも、いつまた学校に行けるか分からないと考

えるとかなしかったです。先生も、友だちも大好きだったからです。オンラインのじゅぎょうでひさしぶりにみんなの顔が見れた時は、少しきんちょうしてはずかしかったけれど、すごくうれしかったです。楽しいゲームも先生はたくさんしてくれたけれど、遠足や補習校の運動会はなくなってしまいざんねんでした。

学校がはじまらないまま夏休みになってしまいました。いつもは日本に行って、小学校に通います。おじいちゃんやおばあちゃんとおでかけもします。おいしいものもたくさん食べます。でも今年はそれが全ぶできません。ビデオチャットではたく

16×16

さん話しているけれどすごく会いたいです。日本もウイルスが広がっているのでみんなが心ぱいです。来年はウイルスの心ぱいをしないでも、おでかけができるような安全な夏になるとうれしいです。

かなしい事ばかりではありませんでした。一番うれしかった事は、いつも仕事をがんばっているお父さんが毎日家にいた事です。べん強を教えてくれたり、いっしょにゲームをたくさんしたりしました。いつもより時間があるので、大好きなクラフトや絵をかく事もたくさんできました。一人でりょう理をしたり、お父さんもいろいろな国のりょう理を作

16×16

ったりして、全ぶおいしかったです。

まだ、いつから学校でみんなに会えるか分からないけれど、このパンデミックが早く終わって、みんなと遊び、日本にも行きたいです。今はまだ大へんな事もあるけれど、みんなでもう少しがんばってみましょう。

16×16

今やりたいこと

W校　初等部　三年一組

萩原　彰啓

ぼくは、コロナウイルスのえいきょうで、ずっと家にいます。そこで、今、ぼくがやりたいことを考えて書こうと思います。

まず一つ目は、りょ行です。ぼくは、アメリカに来てから、ロサンゼルスとカナダにしか行っていません。今年の夏は、グランドキャニオンに行く予定でしたが、行けません。グランドキャニオンは、日本では見られないような大なけしきが見られるところだと、お父さんが教えてくれました。とくに、朝日と夕日

が、とてもうつくしいとも言っていました。どのようなけしきが見られるのか知りたいので、来年は、ぜったいに行きたいです。

もう一つ、自由のめがみが見たいです。学校でべん強したので、実物が見たくなりました。写真をとりたいです。

二つ目は、たん生日パーティーです。ぼくは、友だちのたん生日パーティによばれて、スケートリンクとゲームセンターに行きました。とても楽しかったです。だから、自分の時は、大すきなレゴランドでパーティをやろうと思っていました。でも、ぼくのたん生日が七月なので、今回

16×16

はできませんでした。来年は、友だちをたくさんよんで、楽しくやりたいです。

さい後は、日本に帰ることです。友だちや、おいしいちゃんとおばあちゃんのことが気になって、会いたくなります。おばあちゃんの作るケーキやりょうりを食べたいです。おいしいちゃんとおでかけしたいです。友だちとおにごっこをしたり、サッカーをしたいです。

やりたいことを考えはじめたら、きりがありません。まだまだやりたいことがあります。ぼくのゆめがかなう日が、一日でも早く来るといいなと思います。

まい子になった妹

W校　初等部　三年二組
瀬来　真弥

わたしは、あんなというもうすぐ七才の妹がいます。妹とはケンカをしたりいなくなったりします。てほしい気持ちになったりします。だけど、本当は、いなくなってほしくないのがわかりました。夏休みに家族で海に行って妹がまい子になったからです。

それは、こんな出来事でした。八月十一日と十二日に家族でロバートモーゼズビーチに行きました。その海は、すごく大きくて、人もたくさんいました。新コロナウィルスがあったので、すわる所もほかの人がら

五メートルはなれていました。マスクも、つけなければいけませんでした。

わたしは、ツヤベルで、大きいあなをほっていました。妹はいつも、近くのなみうちぎわで遊んでいます。父と母は、すわって話をしていました。とつぜん母がいった。「あんなはどこに行ったの」。とさけびました。父が立ち上がってなみうちぎわを見回しました。わたしもなみうちぎわを走り回りましたが、妹はどこにもいません。

母の所に行ったら、母はしらない人に妹のことを聞いていました。母は、マスクをつけるのをわすれてい

ました。わたしは、妹のことがすごくしんぱいでした。母もすごくしんぱいそうです。妹がなみにさらわれたのなら、もう二どと会えないかも知れません。妹とケンカしたりして、いたくなったらいいと思ったこともありましたが、本当にいなくなったら、すごく悲しくなりました。

わたしは母について行きました。母がライフガードに、妹のことを聞きました。そして、む線で妹のことをほかのライフガードに聞いてもらいました。

待っている間に、歩き回って妹をさがしました。けれど、妹はどこにもいませんでした。父も走り回って

妹をさがしました。

ライフガードにもどりました。そのライフガードは、「あんなさんらしい女の子がビーチのはんたいがわに、見つかりました。」と言いました。母とわたしは、そこまでいそいで走りました。その女の子が妹でいて下さいと、神様にいのりながら走りました。

「いっぱい走ったら、妹が見えてきました。すごくうれしく、てもとはやく走りました。妹のところについたら、妹は泣いていました。わたしは、妹をだきしめました。

海は楽しいけれど、気をつけなければいけません。わたしは、もう妹

とケンカをしないようにしたいと思いました。けれど、その夜、もうケンカをしてしまいました。だけどもう妹がいなくなればいいとは思わなくなりました。

地球を守ろう

W校　初等部　三年二組
たき見　けん一

ぼくはテレビでサンゴが死んで白くなっているのを見ました。そのりゆうは地球温だん化が進んでいるからだそうです。温だん化が進んで海水温が上がり、サンゴが生きられなくなります。ぼくはそれを聞いて大へんだと思いました。

ぼくはどうやったら温だん化を止められるかを調べました。すると、つかっていないへやの電気を消すことやエネルギーのむだづかいをしなければ温だん化をふせげるかもしれないとありました。そこでぼくは、

つかっていないへやの電気を消すようにしています。さらに妹と父と母にも
「つかっていないへやの電気を消して。」
とつたえたら、家族も電気を消してくれるようになりました。
ほかにも南きょくの氷がとけて海面が上がって、高さのひくい土地が海にしずんでしまうかもしれません。また北きょくの氷がとけてきていて北きょくぐまの住むところがなくなってきています。日本では温だん化のえいきょうで大雨やいじょう気しょうがふえてきています。
ぼくは、温だん化をふせぐために

16×16

は、ペットボトルや牛にゅうパック
などはリサイクルすることや、車を
なるべく使わないようにすることが
大切だと思います。車は、はいきガ
スを出すので、ぼくは自転車でいど
うするようにしています。ほかにも、
植物はそだつときに温だん化のげい
いんであるにさんかたんそをすって
くれるので、植物も大切だと思いま
す。

未来の人々のためにも温だん化を
できるだけふせぎたいと思います。

16×16

とんぼ

W校　とうぶ三年三組
木田　雄斗

夏休みにほとんど毎日、こうさくとんとんとなかまたちとタ方遊びました。

ぼくたちは、バトミントン、プール、白てん車、おうちごっこ、虫とりをしました。虫とりでモン白チョウ、だんご虫、アゲハチョウ、オオカバマダラ、とんぼ、モンキチョウを見つけたり、つかまえてかんさつしました。ぼくは、モン白チョウをつかまえた時、家に帰って、図かんで調べました。そうしたら、モン白チョウは白い花と黄色の花にあつまることがわかりました。

16×16

とんぼをつかまえた時は、こうきくんと虫とりあみでつかまえました。つかまえた時に、ぼくは入っていないと思ったのに、入っていたので、びっくりしました。こうきくんが虫かごの中にいれてくれました。

ぼくはかんさつしたかったので、家にもって帰りました。そしたら、すぐに弱ってきてしまいました。

ぼくは、元気になってほしかったので、葉っぱやえだをとってきて、虫かごに入れました。お母さんには、きょうりを切ってもらいました。でも、とんぼは全く食べませんでした。そして、ますます弱っていって三十分たたないうちに死んでしまいまし

た。とてもさびしかったです。

でも、その日はいっしょにいることにしました。ねる前に、ぼくはお母さんに、

「とんぼをとってきたい。」

と言いました。なぜかというと、ぼくのさいしょのペットだからです。

お母さんは、

「またとんぼが生まれてくれるようにおはかを作ろう。」

と言いました。ぼくは、かなしかったけど、次の日おはかを作ってうめてあげました。

お父さんとインターネットで調べたら、かうのはむずかしいということがわかりました。なぜかというと、

とんぼは生きている虫しか、食べないことと、気温のへん化に弱いそうです。こんどから虫をつかまえた時は、かんさつしたらはなしてやろうと思います。

16×16

家族はいっしょ

W校　初等部　三年四組
よし田　りな

わたしは、夏休みに家族とコテージにとまりに行きました。いつもの夏休みは日本に行って、おじいちゃんとおばあちゃんに会って遊ぶけれど、今年はコロナが心ぱいなので行けませんでした。日本に行けなかったのはざんねんだけど、そのかわりにたくさん遊ぼうと思って、コテージをえらびました。

コテージに行くために車で六時間北に行きました。ニューヨークとちがってすずしかったです。また山や草原やとうもろこしばたけなど自ぜ

んがいっぱいあって、店や家などは少なかったです。

コテージの中は二だんベッドやかわいいバスタブがありました。にわには、たき火ができる場所がありました。家の中をたんけんしてみて、ここにいる時間が楽しみだなと思いました。

コテージに着いた後、バーベキューのじゅんびをしました。兄と父が火をたきました。わたしは、母のお手つだいで玉ねぎとトマトをアルミホイルにつつみました。というもろこしやお肉などをやいて食べたら、とてもおいしかったです。

次の日はカレーを作りました。わ

たしは、玉ねぎとにんじんとじゃがいもをいためました。兄は肉をやいて、わたしがいためていたおなべに、お肉を入れました。水を入れてふたをして三十分間にこみました。さい後にカレールーを入れてこげないように何回かまぜました。はじめて外で作って食べたので、いつもとちがう味のような気がしてとてもおいしか、ったです。わたしははじめてカレーを作ったので少しきんちょうしました。けれども、家族がとてもおいしいと言ってくれたので安心しました。うれしかったです。

昼には、川に遊びに行きました。小さいお魚がわたしの足をつついて

きてとてもくすぐったかったです。

また、石を高くバランスよくつんで遊びました。サギをとても近くで見ました。わたしより大きかったのでこわかったです。

夜には、星と月が明るく見えました。夏の大三角形をはじめて見てきれいでした。

今回のりょ行でわたしははじめての事がいっぱいできて新しい事を習って楽しかったです。カレーの作り方をおぼえたので、また家で作りたいなと思いました。

コロナのえいきょうで、学校に行けないし友だちとも会えないのでつまらないと思っていました。けれど、

家族はいつもいっしょにいてくれるので、家族はとても大切だなと思いました。とくべつな事をしなくても、家族がいるからわたしは楽しくすごす事ができます。

16×16

わたしの家ぞく

W校　二年一組

三わ　紗月

わたしの家ぞくは、お父さん、お母さん、お兄さんです。

わたしは、家ぞくのことがすきです。

お父さんは、お店に行くと、わたしがほしいおかしやおもちゃを買ってくれます。

お母さんは、わたしが大すきなチーズケーキを作

12×12

「てくれます。」お兄さんは、
わたしのためにねこごこ
をいっしょにや「てくれま
す。」みんな、わたしにやさ
しくしてくれます。
でも、わたしはみんなに
直してほしいことがありま
す。お父さんは、いつも
しごとをしているので、も
「といっしょにあそんでほ
しいなと思っています。
お母さんは、かん字のテス

トのとき、何回もや。たか
ん字をまちがえると、おに
みたいにおこります。お兄
さんは、ねこご。このとき
に、けんかをするのをやめ
てほしいです。

わたしは、いつも夜にな
なかねられなくてこま。て
います。すると、お父さん
とお母さんは、おまじない
をしてくれます。お父さん
は、わたしの顔をゆびで一

しゅうか二しゅうして、はなをちょんとさわります。

お母さんは、まぶたにキスをしてくれます。そうすると、わたしはよくねむれます。

わたしは、家ぞくのことを大切な人たちだなと思っています。だから、わたしは、家ぞくのためにわたしが作った工作をプレゼントしてあげたいです。お父さ

12×12

んには、ダンボールで作った
ビールをあげます。お母
さんには、はり金で作った
ゆびわをあげます。お兄さ
んには、ダンボールで作った
た電車をあげます。それは、
みんなによろこんでもらい
たいからです。いつもみた
いに、うれしそうに、
「ありがとう」
と言ってくれると思います。

12×12

日本の小学校

W校　二年二組

村い　みさ

わたしは、夏休みの三しゅうかん日本の小学校へかよいました。はじめはきんちょうしたけれど、先生やお友だちがやさしくしてくれたのですこしずつなれていきました。

一ばんたのしかったことは、体いくです。みんなな

12×12

わとびで二十とびができて
いてすごかったです。わた
しもとべるようになりたい
と思いました。つぎに、み
んな字がていねいでおどろ
きました。わたしはいまま
できにしていなかったけれ
ど、これからは書くことにき
をつけたいと思いました。
さいごに、きゅうしょく
がおいしかったです。わた

しはやさいがにが手だった
けれどすこし食べてみたら
おいしくて二回かんしょく
することができました。
これからもにが手なやさい
も、すこしずつちょうせん
していきたいです。
みじかい間だったけれど
日本のお友だちができてた
のしい体けん入学でした。

電気の大切さ

W校　二年三組
梅本　琴葉

先週、わたしの家がトロピカルストームのえいきょうでてい電になり、昼から夜までず。と電気がつかえなくなりました。

夕方に車で外に出てみるとたくさんの木がたおれていて、しんごうがついていないところもありました。

12×12

ごはんもいつもみたいにすいはんきでたけなかったので、おかあさんがおなべをつかってたきました。ほかにもテレビやパソコン、レンジもつかえませんでした。夜はなにもすることがなかったので、ろうそくの火の前で家ぞくみんなでしりとりをしました。

へやがくらい中、夜しんしつへ行っていると、も

し電気がなか。たら、わたしたちの生活はこんなにら、べんなんだと気づきました。

電気のスイッチをつけて電気がつくことをあたりまえだと思わず、これからはもっと電気を大切につかっていくようにしたいと思います。

12×12

いつもはしるぼく

W校　二年四組
岡野予至

夏休みに入ってから、ぼくはいつもたくさんはしっています。ぼくはいつも、ブリがサークルのうちがら見て右がわにある家を、五けんくらい回るようにはしっています。一しゅう百五十メートルもあるので、いがいと一しゅうはたいへん

です。

ブリガサークルにはき、国してしまったけど、こうたくんという足のはやい男の子がいました。いつも、こうたくんとあそんでいました。こうたくんは足がすごくはやくてかっこいいなあと思っていました。ぼくもあんなふうになりたいなあと思いました。それがはじめたきっかけです。

こうたくんがいるときは、リレーなどを大人といっしょにやっていました。いまはおうすけくんというまたべつの友だちとはしっていています。

今日はいっしょに二十しゅうもはしりました。ずっととばすと二十しゅうはきつかったので、おうすけくんみたいにペースをおとしてはしりました。こうして

ぼくは二十しゅうはしりきることができました。

未だ友だちといっしょにはしっています。今日は十しゅうしたそうです。ぼくはすごいなぁと思いました。

はしりおわった時はすごく気もちよかったです。もっと足をはやくしたいです。

台風

W校　二年四組
岩さき　ゆうき

今日、ぼくの家がていでんしました。なぜかと言うと、台風でとなりの家の木がおれて電線を切ってしまいました。

れいぞうこがつかえないから、れいとうこにあるアイスクリームをみんなで三こずつ食べました。一日に

三こも食べられて幸せでした。台風がおわった後、お父さんが通れる道をみつけて、歩いて買いものに行きました。すいはんきがつかえないので、お母さんがおなべをつかってガスでごはんをたきました。夜は、すごくまっくらで、前がよく見えなかったので、友だちの家からかりたキャンプ用のランプでてらして、ごは

んを食べたりしました。ちっとキャンプみたいで楽しかったです。

つぎの日、明るくなって外に出て見ると、おれた木が道にたくさんおちていて、車が通れなくなっていました。電気がきたかチェックしたけれど電気は、まだきていませんでした。ぼくはがっかりしました。

つぎの日、サッカーキャ

ンプに行って帰ってきたら
電気がついていました。
二日半電気がつかえなく
て、夜まっくらだったり、
いろいろなものがじゆう電
できなかったり、れいぞう
このものがひやせなかった
りして、電気がとても大切
なことが分かりました。

12×12

キャンプにいったこと

１年１組　村上かほ

なつやすみに、おかあさんとおとうさんとおにいちゃんとマウントビーコンにキャンプにいきました。はじめてのキャンプだったので、

「キャンプはたのしいだろうな。」

とおもいました。

山について、山のぼりを
二じかんはんしました。
「えー、もうつかれたよ。」
とわたしがいいました。山
のぼりには、たくさんの子
ヤレンジがありました。たと
えば、小さな川をわたる
とき、いわの上をかえるみ
たいにとびはねました。だ
けど、くつが水にぬれてし
まいました。川の水はつめ
たくて、とうめいで、ス
イ

12×12

スーとおとがしました。

ほかにも、大きなふとい木をとびこえるのがすこしむずかしかったです。一ばんむずかしかったところは、大きないわをロックライクライミングみたいにのぼったことです。よいしょ、よいしょ、とのぼったときに、「ねこみたいなあしがあればいいな。」

とおもいました。

ちょうじょうについたら、きれいなけしきが見えました。山をくだるのはかんたんでした。サインを見たら、もうキャンプじょうがすぐでした。

ついたらテントをつくりました。そしてバーベキューの火をつけました。さいしょにはっぱと大きな木をいれて、おとうさんが火をつけました。火がボーボーボー

とあつかったです。そして、ハンバーグとおにくとおさかなをやきました。みんなといっしょにたべました。ハンバーグがーばんおいしかったです。

「おいしいね。」

くらくなって、テントの中でねました。つかれていたので、すぐねました。

またキャンプにいきたいです。

スクーター

L工校一年二組
ふくおか　まりこ

スクーターはたのしくてはやいです。こうえんにすぐいけるから、こうえんがクローズしないですみます。

さいしょは、三つのタイヤのスクーターをれんしゅうしました。ブレーキがむずかしかったです。りゆうは、うしろにブレーキがあ

12×12

って見えないからです。うしろを見てブレーキのばしをまい日たしかめました。そして、三つのタイヤのスクーターにのれるようになりました。

つぎは、二つのタイヤのスクーターをれんしゅうしました。ぐらぐらしてスクーターからおちました。りゆうは、タイヤが二つだったからです。まい日、さか

でぐらぐらしないように、まっすぐのりました。そして、二つのタイヤのスクーターにものれるようになりました。

れんしゅうをすれば、どこにでもすぐいけてとってもたのしいです。

ナイアガラのたき

W校　一ねん一くみ

立石　新奈

なつやすみに、ナイアガラのたきのふねにのりました。ドキドキしながらのりました。青いレインコートをきて、ぬれないようにガードしました。

だんだんたきがみえてきて、一ばんたきにちかづいたとき、お母さんが、

「キャー！」

と大ごえをだしました。

水がすごくかかって、かぜもすごく強かったです。びしょぬれになりました。

わたしは、この水はどこからきてるんだろう？と考えながらのりました。そしてお父さんにききました。

お父さんは、

「雨がふってかわになってそれがながれているんだよ。

とおしえてくれました。

わたしは、雨はまい日ふってないのになんでなくならないんだろう？とおもいました。

12×12

おおきくなったら

小校一ねんーくみ

あさの　ともえ

わたしは、おおきくなったら、なりたいものが十こありまず。こんかいは、そのうちの三つをしょうかいします。

一つめは、およふくやさんです。なぜなら、かわいいおようふくをつくりたいからです。ドレスやスカ

ート、シャツをじぶんでデザインしてうります。

二つめは、おはなやさんです。きれいなおはながみられるからです。ばらやチューリップがきれいだとおもいます。

三つめは、ようちえんのせんせいです。こどもたちをえんそくにつれていったり、いっしょにえをかいたり、おりがみをおったりし

ます。

わたしは、およふくやさんになるために、いろいろないろのふくをかってきます。おはなやさんになるために、森やこうえんで、おはなをつみます。せんせいになるために、あたらしいことばをおぼえたり、じをじょうずにかいたり、ちいさいこどもとあそんであげたりします。

おおきくなるのがたのしみです。

ぼくのにわ

W校一ねん二くみ

まなべ和也

ぼくのにわにはどうぶつがいっぱいきます。天気のよい日にはたくさんのどうぶつがあらわれます。けれども、わるい天気の日にはどうぶつたちはいぶんたちでつくった家にはいります。ぼくのにわにくるどうぶつは、しまりす、りす、すずめ

12×12

め、しか、うさぎ、きつね、てんとうむし、そしてはちです。その中で一番すきなどうぶつは、しまりすです。なぜならしまりすは、かわいいしましまがからだについていて、小さいどうぶつだからです。ぼくのおとうとはよくしまりすをおいかけます。そのときぼくは、「ぼくもしまりすをつかまえていいっしょにあそびたい」とよびかけます。

いなぁ。と思いました。ぼくはちにな って花のみつをすってみたいです。ぼくはしかになって、てしかの家ぞくとごはんをたべてみたいです。ぼくはすずめになってはねでかぜをつくって あついときにかぜをあてたいです。ぼくはぼくのにわがとても大すきです。

ぼくのなつやすみ

W校ねんさくみ

ひらとりんせい

ぼくは、なつやすみにかぞくとりょこうにいきました。ニューヨークしゅうのマンハッタンをきたのレイクプレシティンドで、いもうとたんけんをしました。

まず、かいとうをみつけました。

はっぱもみつけました。

おおきなのこ

おおいぬ

ぼく

くといもうとでかいそうで
もあそびましたっぽくはあ
ひるとかけっこしました。
そして、すなボールとすな
しゅりけんをおとうさんに
なげましたっおとうさんが
すなだらけになったので、
ロッジへかえりました。
つぎのひ、こうえんでおに
ひるごはんをたべました。
そのあと、ぼくがあひるに
ワッフルをあげました。

12×12

るとん、たくさんのあひるたちがぼくをおいかけてきました。あとすこしで、ぼくはんになってしまいそうでした。

ぼくのなつやすみは、ハラハラドキドキのとってもたのしいかぞくとのじかんでした。

さいしょはきんちょうした
ので、よっともだちやせんせ
いとちょっとだけしかしゃ
べれませんでした。ニュー
トがうまくできませんでし
た。でもがんばってべんきょ
うをして、たくさんかつ
やくできるようになりまし
た。とてもうれしかったの
で、ニがきもいっぽいかつ
やくしたいです。

12×12